

# 平成28年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会議事録（要旨）

平成28年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会における委員の発言要旨等は次のとおりです。

## 1 日 時

平成28年2月8日（水）午後2時30分から4時まで

## 2 場 所

ニューグランドホテル松鶴

## 3 出席委員（敬称略）

津谷永光、奈良正人、上田 忠、佐藤正孝、高谷浩英、神谷 彰、畠山淳子、金 史仁、庄  
司 弘、柏木清一、中嶋洋子、武石悦子、加藤浩二

以上13名出席（協議会定員14名中、同会委員13名出席）

## 4 会長選出

委員の互選により、津谷委員を会長に選出した。

## 5 会長職務代理者指名

会長の指名により、奈良委員を会長職務代理者に指名した。

## 議 事

津谷会長の司会により議事を進行した。

## 6 報告事項

### （1）地域医療推進部会及び救急・災害医療検討部会報告について

資料1（別添）により事務局が説明した。  
質疑等なし。

## 7 協議事項

### （1）平成28年度北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部重点事項実施状況について

資料2（別添）により事務局が説明した。

質疑

#### ■議長

ただいま事務局から説明をいただきました。これに関しまして、ご意見、ご質問をお願いします。

#### ■神谷委員

高齢者施設等における看取りの推進の研修の講師は常勤医師とのことだが、特養は医師がいない施設だと思うが、こういう形態はありうるのか。

#### ■事務局

一般的には特養の医師は常勤ではなく、講師の施設のような対応は難しいと考えている。講師には、間もなく最期を迎える入所者が落ち着いた状態で穏やかに最期を迎えられるような、看護・介護スタッフによるケアについてお話いただいております、一般の特養でも取り組めるという期待を込めて、ご講演いただいた。管内の多くの高齢者施設は、看取りの指針を定め、研修を行い、看取りに取り組んでおり、また、これから取り組もうという施設もあり、そういった方々への励ましも含めたものである。

#### ■神谷委員

医師以外が、尊厳ある死を迎えられるように関わるというのは大事なことだと思う。最後は、法的に医師が死亡診断書を書かなければならないこともあり、困難な場面が出てくることも多いが、我々も関わっていかねばならないし、地域で取り組むとすれば、地域の医師全体で考えていかねばならないことだと思う。

#### ■庄司委員

小学生向けの認知症サポーター養成講座や、くまぐま園を活用した命の学習会などの子ども向けの活動を今後も続けていただきたい。教育の現場では、総合的な学習の時間、キャリア教育として、学校で学んだことを地域、社会の中で活用し、将来のキャリアの発達、職業に結びつけることを重視している。どの学校もキャリア教育に取り組み、これまでの交流・見学に加え、体験・研修の場を求めており、市内全ての学校で職場体験も行っているので、福祉環境部においても、行政の職員がどういう立場で日ごろ仕事をしているか等、研修先・体験先として、活用させていただきたい。これまで以上に地域とつながり、連携がとれて、子供たちの教育も充実したものになると思う。

#### ■事務局

福祉環境部は多様な職種の職員から成る、プロフェッショナルの集団と自負しており、学校の要望に応え、人材を派遣できるのではないかと思います。当部の事業も含め、要望があれば対応したいので、利用を校長先生たちにお願ひしてまいりたい。

#### ■議長

私からもくまぐま園の利用にお礼を申し上げたい。

#### ■柏木委員

民生委員協議会で、地域包括支援センター、社会福祉協議会と協力し、認知症サポーター養成に取り組むこととしており、今後、市内各学校にも開催を要請したいので、ご支援をお願いしたい。

市内各小学校（前田小を除く。）3年生を対象に手洗い教室をやったところ、喜ばれることが多く、子供たちが目を輝かせながら手を洗う姿を見ると、やってよかったと思う。今後、上小阿仁村でも実施したい。北教育事務所からも声かけいただきたい。

#### ■事務局

当部としても心強いお話であり、協力してまいりたいと思う。

## 8 その他

特になし

#### ■議長

以上で、議事をすべて終了させていただく。事務局においては、寄せられたご意見を踏まえ、事業の推進にこれまで以上に取り組んでいただきたい。

(以上)